

ふれあうナカマ 育む 見守る



元気いっぱい20人の旭っ子

旭小学校は加美町の西側にあり、豊かな自然で囲まれています。赤い「とんがり帽子の時計台」は校舎のシンボルです。全校児童が20人の小さな学校ですが、子どもたちはいつでもみんなで肩を組んでいるように、仲良しです。そして、小さい学校だからこそできることがいっぱいあります。学校行事は1年生から6年生までみんなが主役で、全員で協力して取り組みます。どの行事も、地域の方々が一生懸命応援してくれます。



編集委員 猪股里音、阜山愛斗(6年)
指導教員 北館一裕

方々を招いて、学校で収穫したもち米をお餅にしてみんなでいただきます。お父さんやお母さんたちと一緒にいただいたお餅は、ほっぺたが落ちるほどおいしかったです。会食の時間には、和太鼓やすずめ踊りなどのパフォーマンスもあり、学校と地域の方々みんな一緒に楽しみました。

来年度は隣の宮崎小学校と統合しますが、旭小最後の収穫祭は最高の収穫祭になりました。

思い出心に

最後の収穫祭 最高の一日

旭小

学校名 加美町立旭小学校
所在地 加美町宮崎旭二番1の1
電話 0229(69)5066
校長 林 恵美子
児童 20人



「旭のうた」
澄み渡る 青空に真っ赤な とんがり帽子
緑のじゅうたんに 七色の風
豊かな自然の恵みの中で
みんなみんな なかよし
過去 現在 未来
いつまでも いつまでも いつまでも
いつまでも いつまでも いつまでも 旭

誇り感じて歌う

旭小の名物は、ことし作詞作曲された「旭のうた」です。子どもたち一人一人が旭の詩を書き、先生たちがその詩からキーワードをつないで曲をつけました。

旭への思いが歌詞やメロディーに込められています。この歌を歌ったり聞いたりすると、とてもいい気持ちになります。旭小の誇りだと思います。



1月6日は
大野田小(仙台市)
上沼小(登米市)

宮城教育大学附属小

学校名 宮城教育大学附属小学校
所在地 仙台市青葉区上杉6の4の1
電話 022(234)0318
校長 吉川 和夫
児童 699人



元気な歌声響く

附属小は合唱活動が盛んで、校舎にはいつも美しく元気な歌声が響いています。毎年12月には「合唱の会」を行います。今年で45回目を迎えた伝統ある行事で、学級・学年・全校で合唱を披露します。

ことしの合唱の会もそれぞれの合唱に違った良さがあり、ホールいっぱいにハーモニーが広がりました。



仙台と盛岡(右下)で取材に取り組みました

合的な学習の時間で「東北の未来とわたしたち」という学習に取り組みました。日本は人口減少社会を迎えていて、今後さらに減少することが予測されています。その中でも、東北地方の人口減少が深刻であることを知り、私たちは東北の未来に危機感を持ったのです。そこで、人口減少が東北の社会に与えている影響と、人々が取り組む対策について調べました。



編集委員 飯塚小春、小野寺留唯、片倉愛里、東條悠菜(6年)
指導教員 三浦秋司

持つ分野もありました。世界に目を向けて東北の魅力を発信している企業もあり、東北の人々の苦労や努力を知ることができました。

人口減少の問題は簡単に解決できないかもしれませんが、今回の学習を通して、東北の未来に生きる私たちにも使命があると感じました。

東北の未来

人口減少 私たちにも使命

みなさんは、東北の未来 ありますか？
来について考えたことは
6年生は、4月から総